

# 建設業11団体 秋の叙勲祝賀会

## 和田氏ら43人の栄誉称える



乾杯する叙勲受章者



和田氏

11団体を代表し日本建設業連合会の山内隆司会長は「長年にわたり国民の安全安心に資する国土整備において中核的な役割を果たしてこられた。卓越した英知が参加した。

と技術力、経験はわが国建設業にとってかけがえのない財産であり、それを次の世代に継承していくことが業界の持続的な発展に何よりも大切なこと」。

「安心と成長の未来を拓く総合経済対策が決定し来年度予算が固まる時期が近づいてきた。建設業界が総力を結集し災害復旧・復興工事をはじめとする各種公共事業の着実かつ円滑な達された。

2019年建設業11団体主催による秋の叙勲祝賀会が11日、東京プリンスホテルで開かれ、受章者43人の栄誉をたたえた。旭日中綬章1人、旭日小綬章2人、旭日双光章13人、瑞宝中綬章4人、瑞宝小綬章4人、瑞宝章光章19人。本県からは旭日双光章を受章した和田均氏（和田工業社長、全国管工事業協同組合連合会理事、県管工事業協同組合連合会長）が参加した。

赤羽大臣が  
306人に叙勲伝達

国土交通省の2019年秋の叙勲伝達式が11日、東京プリンスホテル「鳳凰の間」で行われ、栄誉に輝いた306人に対して赤羽一嘉大臣から勳章と勳記が伝達された。

赤羽大臣は「わが国の発展に尽力し顕著な功績を上げられた。受章された皆さまは国土交通行政の各分野において格段のご尽力をいただいた方々。国土交通行政を推進するに当たり、あらためて皆さまのご貢献に心から感謝を申し上げるとともに引き続きのご支援とご協力をお願い申し上げる」と祝辞を述べた。

赤羽大臣は「わが国の発展に尽力し顕著な功績を上げられた。受章された皆さまは国土交通行政の各分野において格段のご尽力をいただいた方々。国土交通行政を推進するに当たり、あらためて皆さまのご貢献に心から感謝を申し上げるとともに引き続きのご支援とご協力をお願い申し上げる」と祝辞を述べた。

施工に努め、地域の守り手となるため、週休2日の実現、建設キャリアアップシステムの普及推進、建設技能者の待遇改善に取り組んでいく」とあいさつした。国土交通省の藤田耕三事務次官は「全国の被災地では地元の建設業の皆さん方が自ら被災されながらも現場の最前線で、24時間体制で懸命に復旧復興作業に当たっておられる。国土強靭化を進め、建設業で働く人々が誇りと希望を持ってる職場となるよう予算確保に努めてまいる。今後とも皆さまの知識と経験をもとに、後進の育成指導や建設業のさらなる発展・魅力の向上にお力添えをいただきたい」と述べた。

その後、全国建設業協会・近藤晴貞会長の「人生100年時代に突入するという時。受章者の皆さまには今後ともトップとして、後進の指導を通して活躍していただきたい」という言葉に続く乾杯発声の音頭で歓談に移った。

赤羽一嘉大臣の祝辞を代読した。受章者を代表して旭日中綬章の青柳剛氏（群馬県沼田土建社長）は「受章を契機に心を引き締め、建設業の振興・発展はもとより自然災害に備えた災害対応組織力の強化の推進に向かって、なお一層の努力を傾注してまいる所存」と謝辞を述べた。